

ますは

「感謝を献げる」

「この日、ダビデは初めて、アサフとその兄弟たちによって主への感謝を献げるよう定めた。」

(歴代誌上 第16章7節・旧約聖書636頁)

はじめに

私たち人間は「私は生きている」と言われる方と御言葉、そして礼拝によって結びつくことによって「生きる」ことができます。その関係が損なわれている時代だからこそ、息苦しくなるのです。先回は礼拝の象徴である「神の箱」をおろそかにして祝福を失ってはならないのだとの警告を心にとどめました。今回は同じ歴代誌から、神への感謝を献げる大切さを見ていこうと思います。

歴代誌のメッセージ

歴代誌はサウル王の死から始まり、ダビデの子孫である王がどのように神を礼拝していったのかが綴られています。結局、ダビデ王朝であるユダ王国は、バビロンによって滅ぼされるのですが、この書は、王国存亡の歴史を紹介しているではありません。

歴代誌下の巻末を見ると、ペルシア王クロスの許可の下、再建に取りかかるように促される言葉で終わっているのがわかります。つまり、ダビデは神に対する礼拝の形を定めたが、ダビデのように歩んだ王が現れなかったために王国が廃れたのだ、との歴史を振り返った上で、神の憐れみによってもたらされた神殿再建の機会に、再建の姿勢を確認すべく書かれた書物なのです。つまり、神が望んでおられるのは、建物の再建ではなく、礼拝を献げる姿勢の再建なのだと教えようとしているのです。

ダビデの定めた礼拝の形

神の箱が幕屋の中心に置かれた「この日」、

ダビデは「初めて」礼拝の形を定めました。これが私たちにとっても、礼拝の基本となります。「主への感謝を献げる」ことが礼拝の中心であることがわかります。私たちは礼拝において神の御言葉を聞き、神との交わりを深めていくのですが、私たちは沈黙していないでしょうか。神が一方向的に語られるだけでは「交わり」になりません。ならば私たちはどう応えればいいのか。だからダビデは「感謝を献げよ」と言ったのです。

何を感謝するのか

詩編は歴代誌と同時期にエズラが編集したとされていますが、ダビデ在世当時、すでに多くの詩編がありました。ダビデはここで、少なくとも3編(105編、96編、106編など)の詩を用い、何に感謝すべきかを示しました。

前半は105編の言葉が用いられます。神との契約を思い起こし、神が私たちを「私の民である」とお認めくださったことを感謝するのだと示します(8～22)。次に96編を用い、自分たちに与えられたみわざ、なされている恵みの数々に目を留め、日々の出来事に神を覚えつつ、感謝を献げることを促しています(23～33)。最後は106編にも用いられていますが、今後起こってくることについても、神に信頼し、期待して、前もって感謝するのだと教えます(34～36)。それに対し、私たちは「アーメン」(16:36)と応えたいと思います。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「この日、ダビデは初めて、アサフとその兄弟たちによって主への感謝を献げるよう定めた。主に感謝し、その名を呼べ。もろもろの民に主の業を知らせよ。主に向かって歌い、主をほめ歌え。すべての奇しき業を語れ。…心に留めよ 主の契約をとこしえに 命じた言葉を幾千代に。アブラハムと結んだ契約をイサクに対する誓いを。…全地よ、主に向かって歌え。日ごとに救いの良い知らせを告げよ。国々に、主の栄光をすべての民にその奇しき業を語り伝えよ。…『我らの救いの神よ、私たちを救い 国々から集め、救



い出してください。私たちはあなたの聖なる名に感謝し あなたの誉れを誇ります。』イスラエルの神、主をたたえよ いにしえからとこしえまで。民はこぞって言った。『アーメン、主を賛美せよ。』(歴代誌上16:7～9、15～16、23～24、35～36)

ダビデが教えたように、礼拝において、神からの招きと御言葉に対し、心からの感謝を献げ、神との交わりを深めていくことができますように。あなたの救いと憐れみ、そして将来においても恵みをもたらして下さることを感謝し、過ごさせてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (94) 第4章24節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「ねじ曲がった言葉をあなたの口から退け ゆがんだ言葉を唇から遠ざけよ。」

◎口語訳 「曲った言葉をあなたから捨てさり、よこしまな談話をあなたから遠ざけよ。」

◎新改訳 「偽りを言う口をあなたから取り除き、曲がったことを言うくちびるをあなたから切り離せ。」

「ねじ曲がった」

単なる「曲がった」ではなく、「ねじ曲がる」と訳されていることが、この状態の深刻さを表していると思います。「捻じ曲がる」とは、ひねりまげるわけですから、釘などを打ち込みそこねて「く」の字に曲がった状態ではなく、さらにそこからひねったり、ゆがんだりして簡単に元に戻らない状態を表現しているのだと理解しています。「性格がねじ曲がってる」と言われたら、心底ひねくれてる人間なんだろうなどの印象を持つのではないのでしょうか。性格が「ゆがんでいる」というのも、「ゆがんだ言葉」に影響されているからだと思います。

ここに「ねじ曲げる」としたヘブライ語は、この箇所と6章12節の2箇所にしかならない、聖書では希少な言葉です。6章12節では「偽り」と訳されているのですが、ほかに比較できないので、意味の深さが読み取れません。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

しかし、協会共同訳は、さきほども記したように、簡単な曲がり方ではないのだとアピールしたはずですが。この世の中を行き交っている言葉、特に昨今問題視されている SNS などによるフェイクニュースはまさに真実がねじりにねじられた言葉であり、その影響力は、マスコミがこぞって警戒を呼びかけるほどです。そのような中で私たちは真実の言葉である神の言葉、この箴言がいう知恵の言葉にのみ信頼していかなければ、私たちの人生もゆがみ、ねじ曲げられてしまうでしょう。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ネヘミヤ記第13章31節「定められた時の薪の献げ物と初物について決めました。私の神よ、私を心に留めて、お恵みください。」◆ネヘミヤの指導力で神の民たちは城壁を再建した。重ねて言うようだが、このネヘミヤ記は民たちが真の信仰に目覚めていく物語である。エズラと共に、過去にあった失敗を通し、神への従順を忘れてはならないことを繰り返し教え、全力で礼拝をしていくことを徹底させた。それがネヘミヤの最も重要な働きだった。真の礼拝を献げ、信仰を持って歩み続けたい。そして常に、「私を心に留めてください」との姿勢を持ち続けたい。

●賛美 / 19 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

エステル記第1章2節「クセルクセス王がスサの都で王位についていた頃」◆この書の舞台はスサ、神の民を支配していたペルシアの首都であり、しかも、「神」という文字が登場しない書物、さらにユダヤ人が虐殺を免れるという物語なので、私たちとの関係がうすいように感じる。だが、私たちはどうか。この日本という遠く離れた地に生まれ、歴史も文化も違うのではないだろうか。神は、どの地域であっても、どの時代でも働かれる方なのだ。この書では、神が隠れて見えないが、確実に見えざる御手を動かしておられるのだと知ることができる。

●賛美 / 20 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

エステル記第2章23節「このことは王の前で年代記に書き記された。」◆モルデカイは王の暗殺の企てを知り、その情報を実行しようとした者の名と共にエステルを経由して王に告げた。この時、エステルが、「ユダヤ人モルデカイが王の命を救った」と報告したことにより、後日、驚くべき奇跡、逆転劇が起こる。詩編にはダビデが「私はあなたの前に正しく歩んでいました」と訴える場面が多い。神は私たちの歩みを日誌に残すよりも正確に覚えておられる。どんな時でも、神は、私たちに奇跡を起こす準備をしてくださっていることを忘れてはならない。

●賛美 / 21 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

エステル記第3章2節「しかしモルデカイはひざまずかず、ひれ伏しもしなかった。」◆クセルクセス王に気に入られたハマンは、最上席に昇進した。王はハマンに敬礼するよう命じるが、これはハマンからの要求だったはずだ。ただ、この敬礼はただの敬意の表れとしての行為ではなく、礼拝に近いものであったと考える。モルデカイは神にのみ仕える者であったから、神以外のものに対する崇拜を拒んだ。これにより、窮地に陥るのだが、しかし、神が味方であるならば、必ず勝利する。悪は長く続くことはないからだ。

●賛美／22 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

エステル記第4章14節「このような時のためにこそ、あなたは王妃の位に達したのではないか。」◆エステルが王妃に選ばれたのは、エステルが美人だったからではない。神がこの時のために、備えられた器であったからだ。この書を読む時、囲碁で用いる「布石」という言葉を思い出す。神はみわざをあらわすために、前もってご計画を進め、布石を打っておられる。私たちは目先のことしか考えられない。エステルが王妃に選ばれていたことは重要な布石であった。私たちもそのように用いられる時があることを知っておくべきだ。

●賛美／23 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

エステル記第5章14節「ハマンはこの言葉が気に入り、その柱を立てさせた。」◆ハマンの妻はかなりの悪女である。ハマンのつぶやきを聞いて、はりつけを思いつき、それを用意させたのだから。いい見世物だとの思いからか、残酷な人物である。そしてハマンもまた、それを見て、「なんて気が利くんだ」とほめた。この世の中は悪で満ちている。陥れようとしたら、地獄にまで引きずりこもうとするような勢いである。最近是自己利益のために、人と人、国と国とが傷つけ合い、報復することが当たり前の風潮がある。それでいいのが。

●賛美／24 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

エステル記第6章1節「その夜、王は眠れなかったので、日々の出来事の記録の書を持って来るよう命じた。それは王の前で読み上げられた。」◆何というタイミングだろう。モルデカイが王の暗殺を未然に防いだことが記録された時、神はこの日のことをすでにご計画しておられたのだ。王は眠れなかった。そして記録の書を調べたくなった。すべてに神が働いておられ、ことをさせている。私たちはこの物語を読む時、自分の人生もこのように神が導いてくださっているのだということを信じるべきだ。疑ってはならない。私たちに幸いな計画が用意されている。

●賛美／25 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【マルコによるふくいんしよ 10:17～31】

「かみのくにはいること」

(マルコ 10:27)

イエスさまが でしたちと あるいていると、あるひとが はしりよって、イエスさまのまえに ひざまずきました。そして、 いうのです。

「すばらしい せんせい！ えいえんのいのちを うけるためには なにをすればよいのでしょうか」。イエスさまは おおげさなことを していることを ちゅういしながら、「じっかいに かがれてあることを まもっていますか？」と たずねました。すると、そのひとは「わたしは こどものときから、ぜんぶ まもってきました！」

そのとき、みんなは びっくりしました。なぜって、そんなこと、あるはずがないからです。

あるところで、「うそつきたいかい」が ひらかれました。いちばん すごい うそをついたひとは たくさんのしょうひんを もらえるという とても おかしな たいかいです。みんな いろい

ろな うそをつきました。それはそれは おなか が よじれるくらい おもしろいものも ほんとうに だまされてしまうような ものも ありました。ゆうしょうしたひとは どんな うそをついたと おもいますか。「わたしは うまれてから いちども うそをついたことが ありません」という うそをついたひとでした。

ひとは やろうとしている よいことが おもいうように できず、 やってはいけないと おもっている ことをしてしまうのです。それは みんな おなじです。だから、「わたしは かみさまのおしえを ぜんぶ まもってきました」など といえるわけがありません。そのひとは、「ぜんざいさんを まずしいひとに あげなさい。そうしたら えいえんのいのちを いただけるでしょう」といわれ、それが できずに かえって きました。

じぶんの よわさを みとめ、 かみさまのまえに くいあらためるのです。そうすれば、かみさまは、わたしたちに えいえんのいのちを あたえてくださるのです。

●かんがえてみよう

☆イエスさまのところに ちかづいてきたひとは、どんな ことを しりたかったのでしょうか。(マルコ 10:17)

☆それに こたえて イエスさまは どのような ことを きかれましたか。(マルコ 10:19)

☆おとこのひとは、なぜイエスさまの まえから さっていったのですか。(マルコ 10:21、22)



なむむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

これにたからをつお

む	て	た	に	つ	を	ら		
か			む	た	ん	に	を	て
ん	を	に	て			た	つ	む
に		む					た	つ
た	か		つ	を				
		を	ん	に	た	か		ら
			を	ん	に	て		
					て	つ	か	を
	た			か			に	ん

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① しょうぎするな
- ② ねしょうん
- ③ しめまい
- ④ ざんさい

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「花ざかり」

徐々にですが、寒さが緩んできたように思います。同時に、固く閉ざしていた花のつぼみかほころんできました。自然は正直です。人間が手を加えようとすれば調和が崩れ、大変なしっぺ返しを食らいますが、神が与えてくださった自然の営みを、自分への恵みであると受け止めて生活していくなら、私たちは生かされ、またその恩恵を被ることができるのです。

ご存じのように私の生まれ故郷は南伊豆ですが、

いつからか「河津桜」が脚光を浴び始め、最近では日本人だけでなく、多くの外国人が本場である河津に詰めかけるようになりました。この河津桜を観光の目玉に、南伊豆町でも「みなみの桜と菜の花まつり」というイベントを行っています。青野川沿いの河津桜も見事なのですが、1月末から咲いている菜の花も、そこだけ春がきているかのように一面黄色に染まっています。ただ、ふと周りを見ると、群生する水仙、梅、そして鮮やかなボケの花など、脇役といったら申し訳ないような花がここそこに顔を出しているわけです。

寒さにかまけて家の中で過ごしているのではなく、今の時期、春を探しに外に出るのもいいのではないのでしょうか。

聖書ふれあい街歩き

●マレシャ ツェファタの谷

イスラエルは東西の大国から常に狙われていました。パレスチナが通り道になっていたからです。ペリシテなどはまだ小さい地方国家ですのでよいのですが、エジプト、アッシリアとなると脅威の他ありません。ユダ王国がアサの時代にも強敵が侵略してきました。エジプトの南に一大文明をほこったヌビアという国がありました。今のエチオピアを含むナイル川上流地域になります。

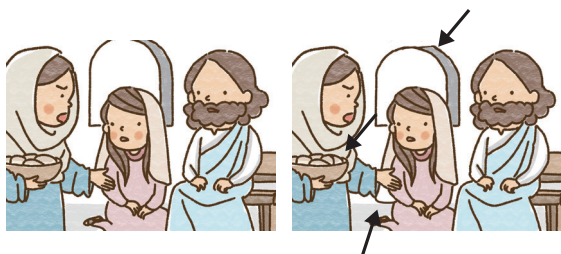
歴代誌下では「クシュ人」(14:8)と紹介されています。その国の王ゼラが何と100万人の兵士を引き連れて攻めてきました。当然、その時代にはエジプトを力で押さえていたからこそ、進出してきたわけで、世界最強の軍隊です。進軍はマレシャ、ユダ南西部にある町で、ユダにとってはエジプトににらみをきかせるための南端にある防衛拠点でした。ここまで簡単に攻め込まれたユダは、喉元に刃を当てられたような危機的状況に陥ったのです。

ツェファタの谷で迎え撃つことになったのですが、マレシャの近くで山側から攻めるユダの王アサは「我々には力がありません。あなたにより頼みます」(14:10)と叫び、大軍に勝利したのです。

ななめ聖書 先週のこたえ

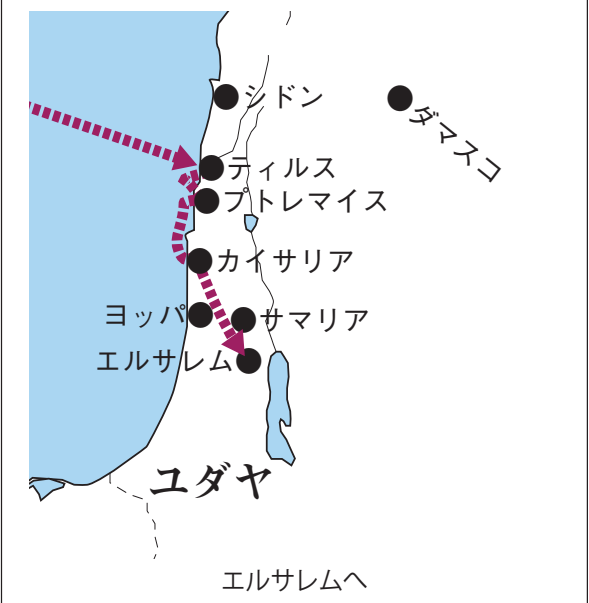
え	だ	ん	い	を	う	よ	ら	ほ
を	う	ら	え	よ	ほ	ん	い	だ
い	よ	ほ	ら	ん	だ	う	え	を
ら	を	い	だ	え	よ	ほ	う	ん
だ	ん	え	う	ほ	い	を	よ	ら
よ	ほ	う	を	ら	ん	え	だ	い
ん	え	を	よ	い	ら	だ	ほ	う
ほ	ら	だ	ん	う	え	い	を	よ
う	い	よ	ほ	だ	を	ら	ん	え

- ①おもいわずらう
- ②よいほう
- ③あしもと
- ④もてなし



ユダヤ人への対処

だから、私たちの言うとおりにしてください。私たちの中に誓願を立てた者が四人います。この人たちを連れて行って一緒に身を清め、彼らが頭をそる費用を出してください。そうすれば、あなたについて聞かされていることが根も葉もなく、あなたは律法を守って正しく生活しているということが、皆に分かるでしょう。また、異邦人で信者になった人たちについては、私たちはすでに手紙を書き送りました。偶像に献げた肉と、血と、絞め殺した動物の肉と、淫らな行いとを避けるようにという決定です。」そこで、パウロはその四人を連れて行って、翌日一緒に身を清めて神殿に入り、いつ清めの期間が終わって、それぞれのために供え物を献げるかを告げた。七日の期間が終わろうとしていたとき、アジア州から来たユダヤ人たちが神殿の境内でパウロを見つけ、全群衆を扇動して彼を捕らえ、」(使徒言行録21:23~27)



【誓願を立てた四人の役割】
 ヤコブは解決のために一つの提案をします。「誓願を立てた四人の頭をそる」というものです。ここで言う誓願とはナジル人の誓願(民数記6章)です。サムソンがそうであったことで知られています(士師13:5)。
 ナジル人の誓願の特徴として、一定期間、髪を切らないこと、そして期間の終わりに髪をそり、犠牲をささげることがありました。これは「律法に忠実である」ことの公的しるしになります。つまり、頭をそる行為は律法を重視していることを形で表す者でした。これによって、パウロが律法を軽視しているわけではないのだというアピール、そして、ユダヤ人をおろそかにしているのではないという牧会的な配慮もあったはずで、ヤコブとしてはとにかく穏便にすませたいとの意図がうかがえます。

【暴動】
 配慮したはずなのに、暴動が起こります。確かに、エルサレム教会内部では理解されましたが、神殿に集まっていた「外部のユダヤ人(アジア州から来た者たち)」によって引き起こされたからです。彼らはエフェソなどでのパウロの宣教を知っており、それに反感を持っていた人々でした。彼らはパウロが「律法とこの場所に背くことを教えている」(21:28)だけでなく、「ギリシア人を境内に連れ込んで、この聖なる場所を汚してしまった」(21:28)と叫んでいます。これがパウロに対する彼らの告げた罪状です。

しかしどうでしょう。アジア州出身のユダヤ人は、見知っていたので、(異邦人である)エフェソ出身のトロフィモが前に都でパウロと一緒に

にいたのを見かけた」と訴えたようですが、「境内に連れ込んだと思った」(29)だけで、パウロが実際に、神殿の内庭に入れた証拠はありません。事実誤認です。これは群衆を扇動するための虚言だったことが考えられます。神殿は熱心なユダヤ人が集まっています。あの主イエスの裁判の様子を彷彿させるような状況になったに違いありません。

ヤコブの提案でしたが、押さえるどころか暴動に発展し、当てが外れてしまいます。ではヤコブの判断は間違っていたのでしょうか。そうではありません。異邦人に律法を課さない(21:25)と決定していたわけですから、両者が共に認めていたことで、しぼりはありません。ヤコブは使徒15章にあるエルサレム会議の決定と完全に一致した行動をしており、その姿勢に問題ははありません。ここで重要なのは、正しい判断を実行に移したことで、結果敵に追い詰められても、それは誤りではないということです。実際に、この暴動を通してパウロは「ローマ市民」として保護されることとなり、またパウロが願っていた総督や王たちの前で自分の救いの証しができ、同時にローマに向かうことができたのです。一気にローマの道が開かれていくきっかけとなりました。

もし、「エルサレムに上っていくと大変なことになる」といった預言、そして感情的に揺さぶられるような説得に応じてエルサレムに行かなかったら、ローマへの道は開けませんでした。「主はパウロのそばに立って言われた。『勇気を出せ。エルサレムで私のことを力強く証ししたように、ローマでも証しをしなければならぬ。』」(23:11)とのご計画は進められていくのです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

